

『自明性の罠』からの解放

自分の生きてる社会を、そこから離れたところから見ると、
「当たり前」だと思いついて、
「当たり前」ではないもの」として見えてくること

不思議一

嫌になる理由

3K (キツイ、キタナイ、キケン) のことは、
起る国々のことを、なぜか好きになる

好きになるのは、そこに、目に見えない、

数量化できない言葉にはなっていくものがあるから、

(人間が生きていくうえで、いちばん核心にあるもの)

不思議二 インドにいと、やれることが少ないのに

時間が長く感じる

時間が上滑りしてない

時間は「生きられる」もの

↓ 人生が上滑りしてない

筆者の暮らす国ではあり得ない

今、私たちは、人間がこれまでに形成してきた社会の形、
「生き方」の形を見通しながら、新しい社会の形を構想し、
実現していくことができる

↓ さまざまな社会を知ること、人間の作る社会の可能性について
想像力の翼を獲得することが大切。